

## 2つの宣言の作成に関わった人の声

スクール議会で携帯やスマホのルールづくりを提案し、宣言の作成にも参加した第四中学校の生徒と、「あいづっこ『携帯・スマホ等の使い方』宣言」「あいづっこ『携帯・スマホ等の使わせ方』宣言」に関わった生徒と保護者に話を聞きました。

「大人になっても、携帯やスマホを正しく使いたい」と二人は話します。子どもは大人のまねをするもの。携帯やスマホだけでなく、手本になれるような大人になりたいと力強く話してくれました。

「ながらスマホ」は絶対にやってはいけない」と長岡さん。「自分はスマホを見ながら歩いたり、自転車に乗ったりすることはしないけれど、ニュースなどで『ながらスマホ』が大きな事故につながることを知って怖いと思った」と話します。

### 正しく使う大切さ



第四中学校生徒会  
副会長 長岡 瞬さん  
会長 赤井 瑠華さん

無料通信アプリでのメッセージのやりとりを自分から切り上げられずに困った経験があると話す赤井さん。「先輩からのメールだとすぐに返信しなければと思い、スマホを風呂場に持って行ったり、食事を後回しにしたりしたことも。ルールが決められたから、切り上げやすくなった人は多いと思う」と話します。

### 持たせる側の役割と責任



市PTA連合会  
会長 諏訪 秀一さん

この宣言は、「携帯・スマホを持たせよう」と推進するものではありません。親は、「みんなが持っているから持たせる」ではなく、「なぜ必要か」「どういう機能が必要か」を子どもと話し合っ

て持たせることが大切です。ルールを守って使っている、トラブルに巻き込まれることもあります。そんなときは、単に取り上げたり、怒ったりするのではなく、子どもと一緒に解決方法を考えていくのが親の役割だし、持つ上で



河東中学校  
生徒会会長 赤城 みうさん

### たくさんの人に伝えたい

宣言は作っただけで終わりではありません。みんなに浸透して、みんなで守ってこそ意味があるものになります。そのためには、「何でこの宣言があるのか」「何の目的で何のために作ったのか」など本質的なことをたくさんの人に伝えていきたいです。今の目標は、生徒会長として、学校のみならず、みんなで守ろう！という雰囲気を作ること。携帯やスマホが身近になっているからこそ、当たり前ですが、みんなでモラルのある使い方をしていきたいですね。

の思いから、分かりやすい言葉で、誰もが守れるような内容になっていきます。

また、これに合わせて会津若松市父母と教師の会連合会でも、親から子どもに対しての「あいづっこ『携帯・スマホ等の使わせ方』宣言」(下記の「記事参照」)を作り、子どもたちが正しく携帯やスマホを使っていくために、親が手本となることを決めました。

携帯やスマホは、親や学校が一方的に禁止したり、ルールを決めて子どもたちに守らせたりするのはなく、子どもたち自身が適切に使用できる力を身に付けていかなければなりません。そのためには、持たせる側の親自身も携帯やスマホの使い方や使わせ方について、改めて考えることが必要です。そして、親子で話し合いを持ち、各家庭で「正しい方のルール」を決めることが大切です。

この機会に皆さんの家庭でも、携帯やスマホの使い方を、じっくり話し合ってみませんか。

### あいづっこ『携帯・スマホ等の使わせ方』宣言

- 1 携帯やスマホを持たせる場合は、目的をはっきりさせます(契約者は保護者です。それを子どもに貸しています)
- 2 家庭のルールをつくり、子ども任せにしません。ルールを教えることは保護者の責任です
- 3 ルールが守れないときやトラブルに遭ったときは、保護者が一緒に考え、よい方法を見付けます
- 4 ゲーム機や音楽プレイヤーの使い方にも目を配り、時間の使い方を指導します
- 5 直接会って話すこと、顔を見て話すことが大切であることを教えます
- 6 保護者自身が、正しい使い方について手本を示し、賢く使える子を育てます

### あいづっこ『携帯・スマホ等の使い方』宣言

- 1 家の人と話し合っ
- 2 2つの宣言は、「あいづっこ宣言」の「ならぬものはならぬ」の教えを基に作られています。
- 3 1家の人と話し合っ
- 4 2やるべきことをやっ
- 5 9時以降のメールなどはし
- 6 人の傷つくこと
- 7 や個人情報を書き込まず
- 8 4困った時や悩んだ時は
- 9 一緒に解決します
- 10 TPOを守り、「ながら」
- 11 スマホ(携帯)などはし
- 12 家族や友達との直接(目と心)

### 携帯・スマホの使い方・使わせ方の宣言



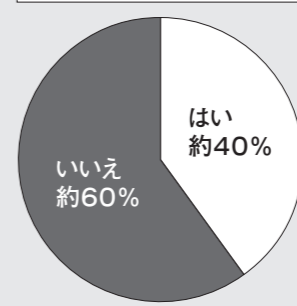
# みんなで守ろう！ 携帯・スマホの使い方

ここでは、市立中学校の生徒会代表が話し合い、作り上げた「あいづっこ『携帯・スマホ等の使い方』宣言」についてお知らせします。

昨年、市立の小・中学校の児童・生徒と保護者を対象に、携帯電話(以下、「携帯」)やスマートフォン(以下、「スマホ」)などの使用状況についてアンケートを実施しました(下記の「記事参照」)。このアンケート結果を各学校と保護者へ報告したところ、昨年の会津若松市スクール議会で、第四中学校の生徒から「危険やトラブルに巻き込まれないようにするために、ルールを決めて使うことが大切。みんなで守れるルールを決めてほしい」との提案がありました。

こうした経過を踏まえ、今年2月、市立中学校の生徒会代表が、各校で話し合った「自分たちが守りたいルール」を持ち寄り、意見交換を行いました。そこで作り上げられたのが、「あいづっこ『携帯・スマホ等の使い方』宣言」です(左下の「記事参照」)。これは、子どもから親に対して行う宣言です。「小学生にも守ってもらいたい」という生徒たち

### 携帯・スマホを持っている



### アンケートの回答の一部

▼メールや無料通信アプリなどのメッセージのやりとり：◎1日に50通以上を超える◎約13%  
◎100通を超える◎約18%  
▼放課後のインターネットの利用(サイト閲覧やゲームなど)：◎2〜3時間◎約15%  
◎3時間以上◎約15%  
▼インターネットで知り合ったメル友：◎10〜49人◎約10%  
◎50人以上◎約11%  
▼インターネットやメールでのトラブル：◎悪口が書いてあるメールが送られてきた◎掲示板などに嫌なことなどを書かれた◎個人情報などが流出した◎勝手に写真などを使用された◎チェーンメールが送られてきた◎他人からしつこくメールがきた など

### 携帯・スマホの使用に 関するアンケート結果

市立の小・中学生と保護者から、中学生の回答の一部を紹介します。